

めざす子ども像 「かしこく」 様々なことに興味・関心を持ち、自ら学び、考え、正しく判断し行動できる子

「心豊かに」 自分を大切にするとともに、友だちなど自分以外の人も大切に思い、つながりあって行動する子

「たくましく」 健康や体力の向上維持に努め、めあてに向かって粘り強くやりぬく子

めざす学校像 子どもが喜んで通う学校、子どもがつながりあって活動する学校、子どもに確かな学力が身につく学校

ホームページ <http://www.ise-mie.ed.jp/~akeno-e/>

編集・発行 校長 中村幸博

明野小学校区防災訓練、実施！

2/14(日)午前9時より、明野小学校区の防災訓練が体育館にて行われました。校区の自治区9つが自治区をあげて協力・参加をしていただき、小保まちづくり協議会と主催しての実施でした。当日は前夜からの春の嵐のため、運動場が使えず、体育館のみでの実施となりましたが、各自治区より約200名以上の参加をしていただき、実のある防災訓練になりました。



あいさつをされる「まちづくり協議会」会長さん(写真右)

当日は体育館に8時前より準備が行われました。いくつかのブースが設営され、防災の時の注意が壁には数多く貼られました。



○救出救助訓練 機器を使った搬送やロープワークによる救出(消防本部)、倒壊家具からの救出 車載ジャッキを使ってのぬいぐるみの救出(市危機管理課)

○避難所設営訓練 間仕切りの設営や段ボールベッド、簡易トイレ等の組立実演

(町防災ボランティアのみなさん)

○応急救護訓練 骨折や出血の急手当や心肺蘇生

(日本赤十字社三重県支部)



○地震体験車(県危機管理課)

設営された間仕切り等(上)

など、さまざまな体験と説明のスペースが作られ、参加された方々は興味をもって説明を聞き、体験をしていました。

この訓練は約1年前から計画・準備されたもので、起こってはならない大自然災害に備えての心の準備も必要という意味での実施となりました。倒壊家具からの救出の説明を聞く参加のみなさん

(左上)地震体験車のようす(左下)



参加していただいた地域のみなさん、そして準備計画していただいた「まちづくり協議会」と各自治区長のみなさま、協力していただいた各機関のみなさま、本当にご苦労様でした。

やさしいまち伊勢市発見大賞、入選者決定！

今年度も冬休みを中心に取り組んだ「やさしいまち伊勢市発見大賞」の入選者が発表されました。明野小学校も4・5・6年生を主に応募しましたが、残念ながら上位入賞者はいませんでした。入賞者は次の3名です。おめでとうございます。

発見・体験作文の部 5年B組 濱口 壱風君
俳句・川柳・短歌の部 6年C組 島 悠花さん
ユニバーサルデザインの部 6年A組 長谷川 雅さん

なお、各作品は冊子として配付される他、伊勢市のHPにも載せられる予定です。



ICT活用支援の先生、再来校！

学校日より「あけの」No.72でも紹介したICT活用支援の先生・奥村先生が再び市教育研究所より明野小学校へ約1カ月来校されています。3/11までの期間です（これは、市内各小中学校が提出した計画にしたがい、電子黒板やPC使用の授業を助けるための派遣で、市教委の学校支援の一環です）。



子どもたちの活動を見守る左の立って見えるのが奥村先生(写真上)

今回は前回1月の来校よりも数多くの授業が計画されています。さっそく先日「カーソルを動かす練習」を兼ねて、1年C組が迷路に沿ってカーソルを動かすゲームにチャレンジしていました。C組の子どもたちの真剣なようすを写真で見て下さい。

田んぼアート、図案決定・・・！



今年度第1回を実施し、大成功した「田んぼアート」が来年度も行われることになり、原画の募集が小俣小・明野小でなされました。明野小からは4・5年が参加し、先日選考の結果、左の図案が各賞をいただきました。おめでとうございます。

来年度は、小俣特産のトマトと梨を組み合わせた（左写真）の図案での田んぼアートになります。梨の図は小俣小4年生の作品です。

田んぼアートは、今年度同様、明野児童館前の田で5月に田植え、9月に稲刈りが行われ、新5年生が担当します。

最優秀作品 中尾美希さん(4A)のトマトの作品(写真一番上)

優秀 5年出口 葉さん(5C)のネコの作品と佳作 5年松本侑花さんの自然の作品(写真中)

特別賞 5年矢口七保さんの作品(下左)と4年前田紗都希さんの作品(下右)

<編集後記>

2月も半ばを過ぎました。いよいよ学校は、卒業への準備（心も体も）に入ります。どの学年でも一人一人の成長、クラスのまとまりや成長を確認する時期でもあります。ご家庭でも子どもさんの成長、すてきな面をぜひ対話してください。

